

今後の実施事業について議論を交わす

ぐんまエコアクション21倶楽部

1月31日、前橋市・矢内において、今後の実施事業等について役員による情報交換会を開催した。

最初に事務局より、直近数年間の実施事業やエコアクション21の認証・登録事業者数の動向などについて報告を行った。

その後、視察先や研修会の講師候補などについて検討する他、エコアクション21を取得した企業が全社的な取組みに広げられるよう、従来の担当者向けのセミナーに加え、初心者向けなど、階層別に実施してはどうかとの提案もなされた。



様々な視点から意見交換を行った

県の設備四団体で交流事業を実施

(協)群馬県機械設備工業会、他

2月1日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、(協)群馬県機械設備工業会が加入する群馬県設備四団体協議会が交流事業を実施し、100名を超える参加者が集まった。

最初に行った働き方改革セミナーでは、社会保険労務士の内山道広氏が、時間外上限規制とハラスメント対策について講演を行った。

内山氏は、時間外上限規制の内容を説明し、見



ハラスメント発生時の対策を説く内山氏



100名以上の会員が参加



直すべき社内の規則等を解説。施主・元請・下請が共通認識を持ち、一体となって取り組む重要性を強調した。また、ハラスメントについて、該当するケースを紹介し、発生した場合の対応策を解説した。

セミナー終了後に懇親会を開催。山本一太群馬県知事をはじめとする来賓や、取引業者等も加わり、互いに親睦を深めた。

1都10県の青年部組織の代表者が集う

関東甲信越静ブロック中小企業青年中央会

2月2日、長野県長野市・ホテルメトロポリタン長野において、代表者会議を開催した。

令和5年度の活動や令和6年度の事業予定が報告された他、急遽、能登半島地震に対して、会議の参加者から義援金を募ることを決定した。

会議終了後に講演会・懇親会を開催。講演会では、長野県の名産であるワインをテーマに、ブランド化に携わる(一社)長野県観光機構・花岡純也氏と、ワイナリーを運営する坂城葡萄酒醸造(株)・成澤篤人氏の2名の講師が各自の取組み事例を紹介した。



1都10県の代表が出席



能登半島地震に対する義援金を懇親会場で募る

Local Area News

全群馬近代こけしコンクールを開催

群馬県こけし(協)

2月2日から6日にかけて、前橋市・県庁県民ホールにおいて、第64回全群馬近代こけしコンクールの作品展示を群馬県などと共同で行った。

会場では、「創作こけしの部」(一点物で未発表作品)、「新型こけしの部」(市場性のあるもの)、「木地玩具の部」(ロクロ技術を主体とした玩具)、「一般の部」(アマチュアの作品)の4部門に応募された計272点を一般公開した。

最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞した「福祿寿」を含む計36作品が入賞。木地玩具の部の「楊枝入れ赤」には、群馬県中小企業団体中央会長賞が贈られた。



応募作品272点を一般公開

業界特有の時間外労働上限規制を再確認

群馬県バス事業(協)

2月13日、前橋市・群馬県公社総合ビルにおいて、バス事業者特有の時間外労働上限規制への対応をテーマに講習会を開催した。講師は、社会保険労務士の高橋貞範氏。

高橋氏は、本年4月から課される一般的な残業規制に加え、バス事業特有の内容として、1日の運転時間や勤務間の休憩時間などを定めた「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準(改善基準告示)」の内容を説明し、注意を促した。

例年の講習会よりも多くの組合員が参加し、適用開始間近となった規制への関心の高さが窺えた。



残業規制対応について解説する高橋氏

学生発案の商店街活性化ビジョンを共有

群馬県商店街(振)連合会

2月13日、桐生市・コワーキング・コミュニティスペース「COCOTOMO」において、桐生市の会員3商店街を対象に、桐生市本町六丁目商店街(振)が令和5年3月に策定した学生発案の未来ビジョンに関する報告会を行った。

最初に、関東学園大学の学生たちが、未来ビジョンの内容と策定に至った経緯を紹介。そして、ビジョン策定から1年間実施してきた、SNSによる桐生市本町六丁目商店街(振)についての情報発信や、桐生地域の行事への共同参加について活動報告を行った。

続けて、ビジョン策定にあたり、マーケティングの専門家としてアドバイザーを務めた関東学園大学准教授・中谷淳一氏が講演。最初に、地域活性化のためにはその地域の事業者の活性化が重要と述べ、環境変化に適応し地域の需要を満たす必要性を説くとともに、マーケティングの考え方や手法などを解説した。



ビジョンの紹介や活動報告をする学生